



# 大樹

岩田小学校だより No.17

令和2年11月20日

学校教育目標

「笑顔いっぱい 夢いっぱい」

## ～いのちと夢のコンサート～ 弓削田健介氏

昨日、合唱作曲家の弓削田健介氏をお招きし、芸術鑑賞会を行いました。

弓削田さんは、全国を旅しながら、学校やホスピス等の施設を訪問し、演奏活動をされている方です。旅先での人との出会いや、旅先で感じたことや考えたことを、音楽にのせて子どもたちに伝えてくださいました。

合唱曲「しあわせになあれ」は、「♪目を閉じて 繰り返す あなたがくれた名前・・・」という歌詞で始まります。みんな目を閉じて、弓削田さんの歌を聴きました。やさしいメロディーは、自分のことを愛してくれている家族のこと、大切な人のことを思い浮かべさせてくれました。涙を流している子もいました。きっと、自分のことを大切に思ってくれている誰かがいるということ、改めて感じたのでしょう。

スライドと音楽、弓削田さんの語りや歌声が、私たちの心の奥に沁み、会場全体が、温かな幸せな雰囲気になりました。

コンサートでは、弓削田さんが作詞作曲した「しあわせになあれ」「図書館で会いましょう」の2曲を一緒に歌いました。歌は、不思議な力をもちます。心が明るくなり、気分もよくなります。この2曲は、子どもたちにとって、とても身近な曲になったようでした。子どもたちが、自分の存在の大切さ、命の大切さを、ふとした時に感じられるように、これからも歌っていきます。

コンサート後、子どもたちが、思い思いに弓削田さんに感謝の気持ちを伝えました。・・・「感動したよ。」「幸せな気持ちになった。」「ものすごく、よかった。」「すてきな歌をありがとう。」「

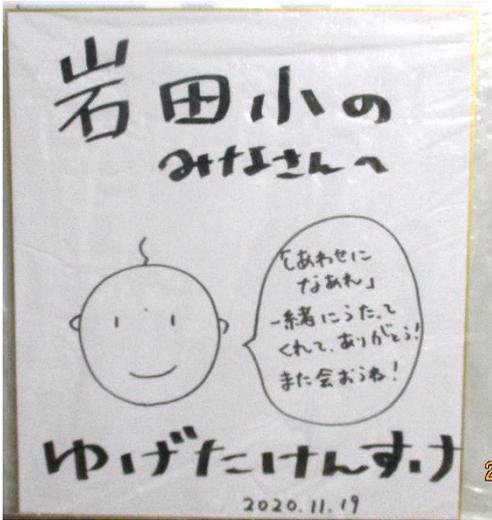
会場を去るとき、子どもたちは、弓削田さんに手を振りながら、とても満足気なやさしい笑顔になっていました。「しあわせになあれ」は、大樹祭でも全校で歌い、今後も歌い継いでいきます。

弓削田さん、すてきな時間をありがとうございました。



### 【子どもの感想】

- ・ゆげたさんの歌声で、世界をやさしくできる。そうなるといいなと、ぼくは思った。
- ・わたしも、夢に向かって努力したい。
- ・相手に伝える言葉が変わると、人の心も変わるということが、一番心に残った。
- ・自分の名前を、もっと大切にしたい。
- ・自分の名前、ほかの人も名前は、とても大切だと感じた。
- ・ゆげたさんの歌は、ぬくもりを感じた。
- ・目を閉じて聴いていたら、自分の名前を呼んでいるお母さんと、お父さんの声が聞こえた。
- ・歌を聴いて、みんな泣いていた。泣くということは、みんな、きれいな心の持ち主だと思った。



しあわせになあれ

作詞作曲 弓削田 健介

目を閉じて くり返す

あなたが くれた 名前

なつかしい 声がする

愛してくれた人たち

光あふれた朝に 願いをこめて

あなたが さずけてくれた

愛の歌が 聞こえる

しあわせになあれ

しあわせになあれ

しあわせになあれ

ぼくの名前から

消えない メロディー